

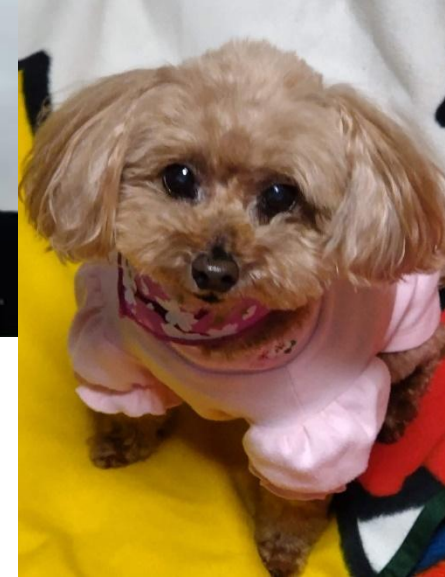
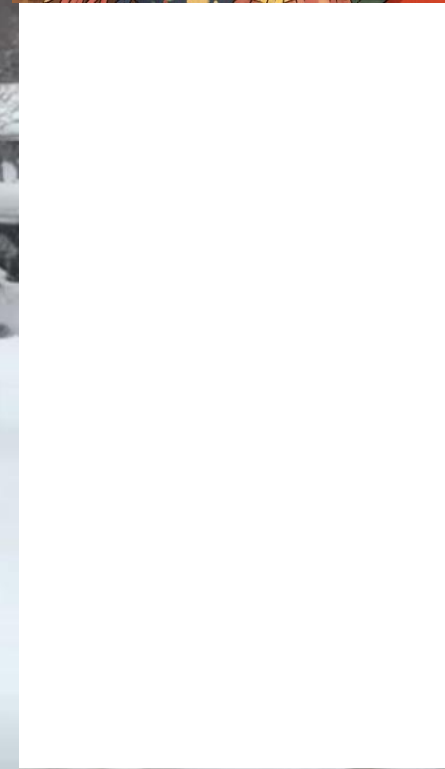
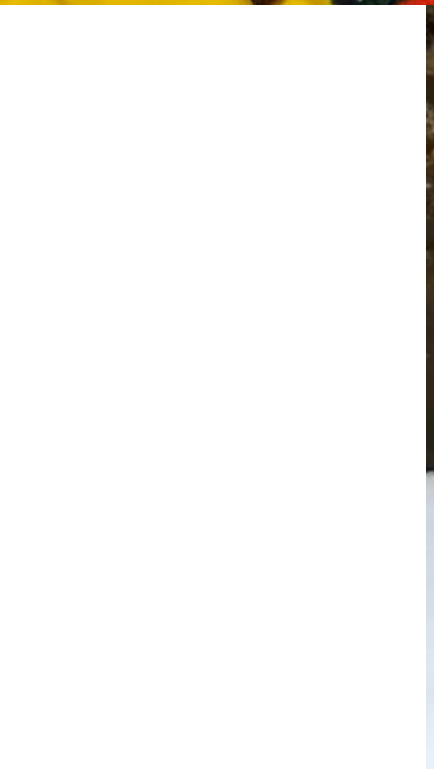
北塩原村と歩んだ365日： 磐梯山ジオパークと共に

令和7年度 地域おこし協力隊 活動報告 (2025.3 - 2026.2)

佐藤 昌典 | 北塩原村 観光課所属



大の犬好き



101匹目はモコちゃん

「磐梯山のこと、地元の方に教わりたいです」— 新たな視点と安全基準の導入

ミッション

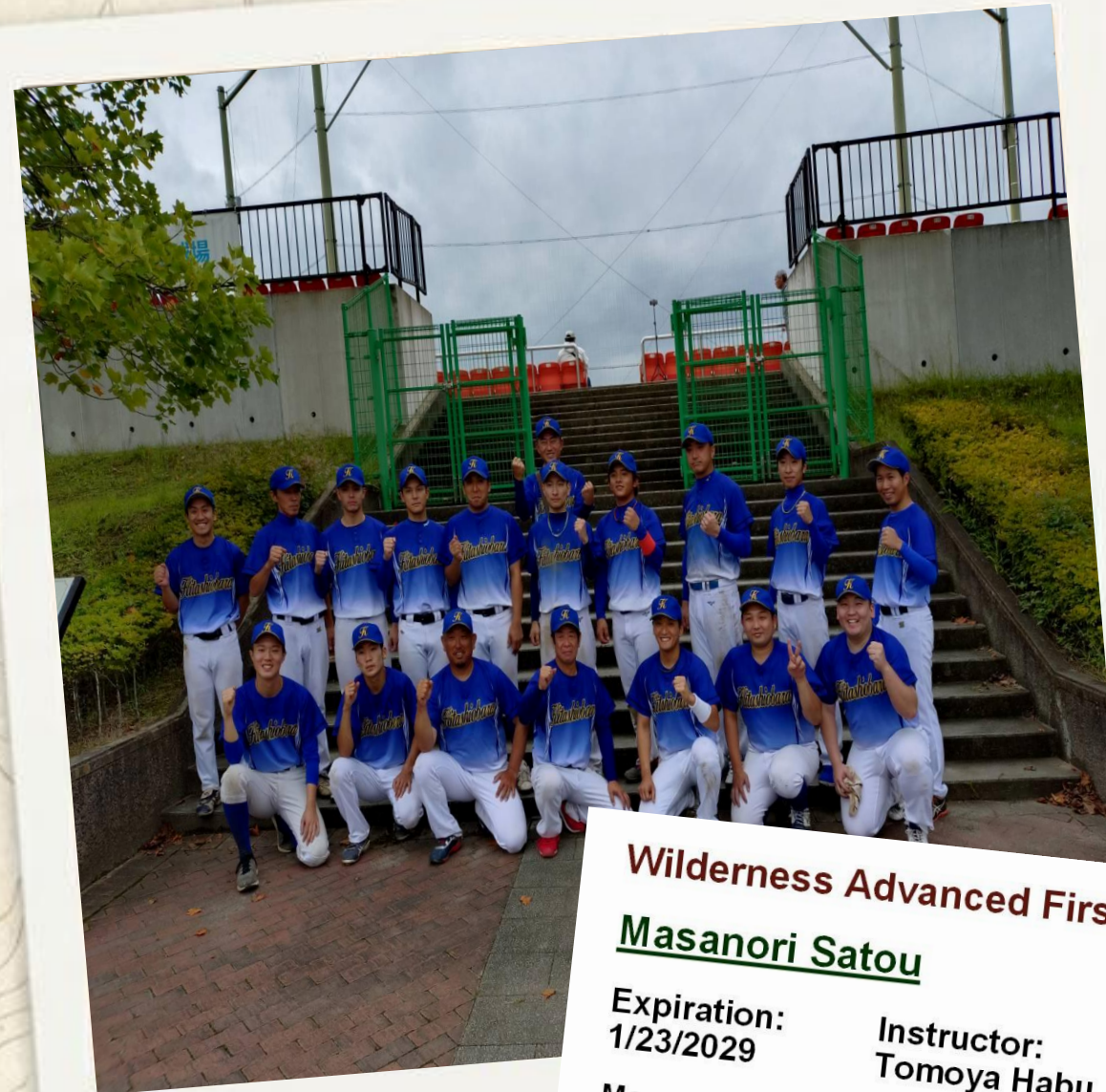
磐梯山ジオパーク推進。村の自然・地形の魅力を活かした観光の仕掛けづくり。

活動期間

2025年3月～2028年2月（最大3年）

強み

Wilderness Advanced First Aid (WAFA) 資格保持。火山地帯や大自然における国際水準の野外救急技術をベースにした、安全で質の高いガイド・ツーリズムの提供。



Wilderness Advanced First Aid

Masanori Satou

Expiration:
1/23/2029

Instructor:
Tomoya Habu



Masanori Satou has successfully achieved the above certification, which includes epinephrine administration to treat anaphylaxis and single person adult CPR, including relief of foreign body airway obstruction and AED use.

FACE ANY CHALLENGE
ANYWHERE

Course ID: 37076

William R. Smith, M.D.
Medical Director

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

春～初夏：守るべき「地域の宝」を知り、フィールドを歩く

観察とインプット：着任直後の3ヶ月間は、北塩原村の圧倒的な自然美と地形の成り立ちを徹底的に学習。



地域資源の再発見：桜の群生から雄国沼のニッコウキスゲまで、磐梯朝日国立公園が誇る植生と火山地形の繋がりを自分の足で確認。

ジオの視点：単なる「綺麗な景色」ではなく、1888年の山体崩壊がもたらした「大地の遺産」としてのストーリーを構築する準備期間。

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

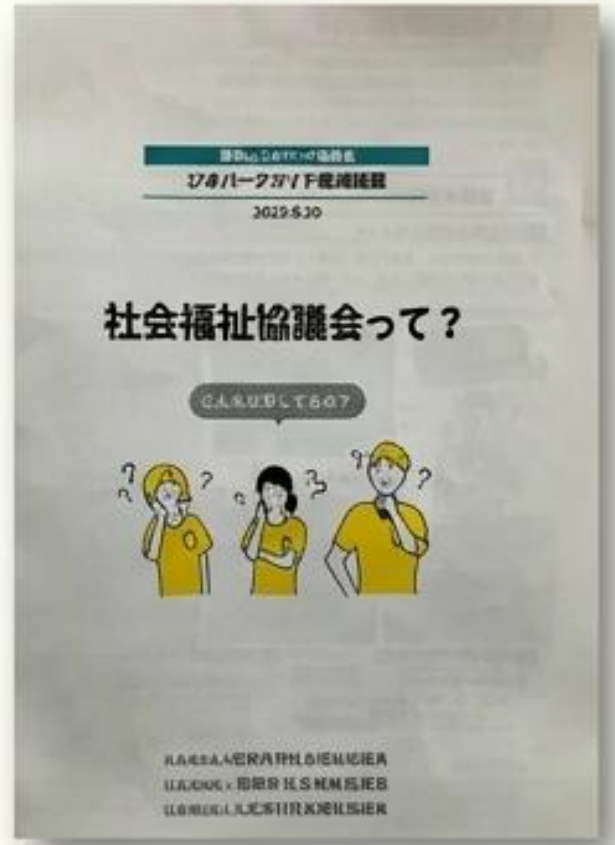
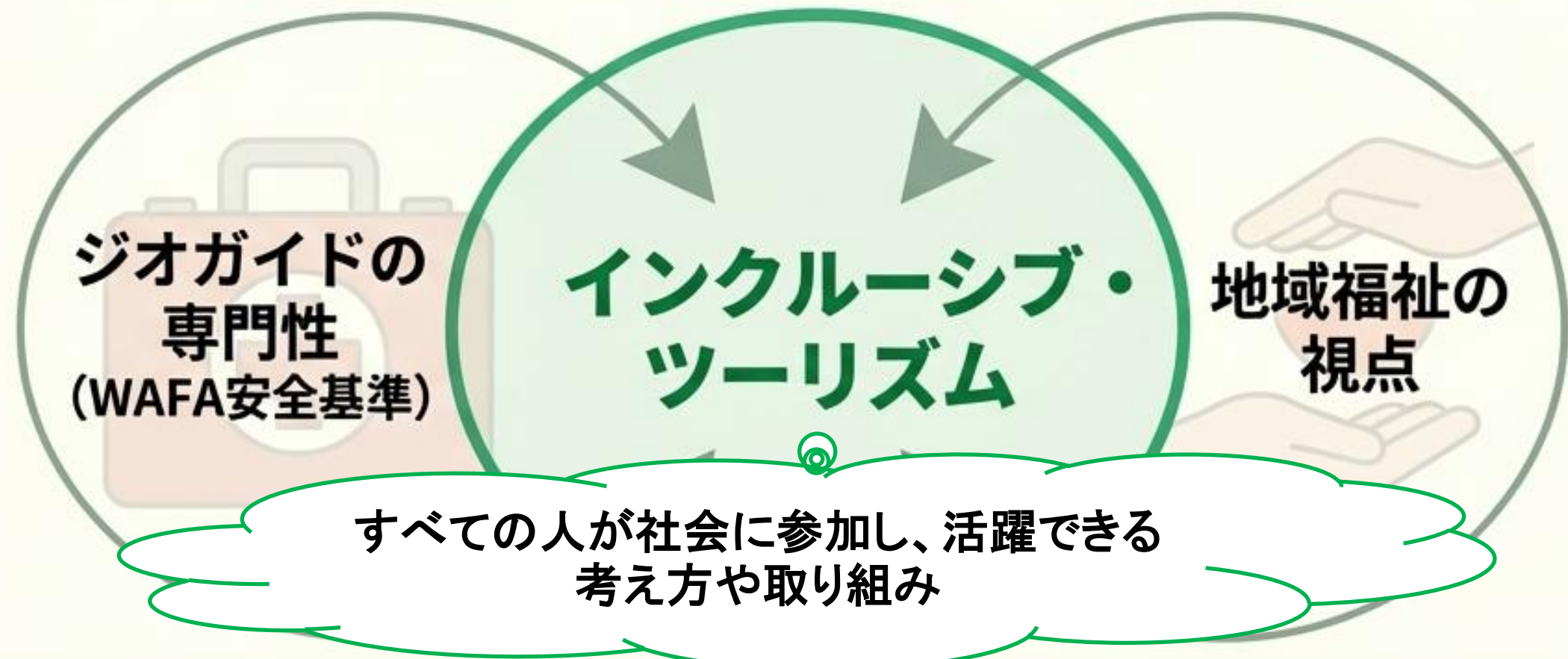
9月

10月

11月

12月

夏：ガイドスキルの向上と、誰もが楽しめるジオパークへの土台作り



安全基準の確立：
WAFA（野外災害救急法）の知見を活かし、フィールドワークにおけるリスクマネジメントを徹底。

第9回ジオガイド養成講座（8月20日）：
磐梯山ジオパーク協議会主催の研修に参加。猪苗代消防署での訓練に加え、3町村（猪苗代町、磐梯町、北塩原村）の社会福祉協議会との交流を実施。

インクルーシブな視点：
「社会福祉協議会って？」という問いから出発し、高齢者や障がいを持つ方も安全に楽しめるジオツーリズムの可能性を模索。

猪苗代町 出前 お祭り





カナディアンカヌー



道の駅裏磐梯

1月 2月 3月 4月 5月 6月 8月 9月 9月 10月 11月 12月



9月：北塩原村の魅力を東京の中心で叫ぶ — 新宿御苑PR大作戦



Event Highlights

- 福島会津満喫フェスタ in 新宿御苑 2025 (9/23~10/26)：磐梯朝日国立公園75周年を記念し、環境省・ジオパーク協議会と連携した大規模PR。
- 圧倒的なビジュアル展示：インフォメーションセンター内アートギャラリーにて、A1サイズの大型パネル25枚を展開。
- ターゲット層への直撃：首都圏在住者およびインバウンド旅行者に向け、裏磐梯の風景、ラムサール条約登録を目指す猪苗代湖の活動をダイレクトに発信。



新宿御苑
新宿門

季節のみどころ情報

磐梯朝日国立公園 磐梯山ジオパーク協議会

主催：「福島マルシェ」ふくしま物産展新宿実行委員会 首唱：新宿区福島県人会 共催：環境省夷磐梯自然保護官事務所 特別協力：磐梯山ジオパーク協議会

14:00から
【裏磐梯 五色沼】



猪苗代町 北塩原村 磐梯町

磐梯山ジオパーク BANDAISAN GEOPARK

Welcome BANDAISAN GEOPARK

日本ジオパーク認定地域

磐梯山

ジオパーク

岩なだれ、流れ山、湖沼群
ずっと、宝の山

新宿御苑と裏磐梯 ⇔ 二元生中継



ウルトラマン磐梯山に現る編・新宿御苑



ジオパークカレー



ジオパークカレー

新宿御苑から始まる、福島への誘客プロジェクト

満喫フェスタの4つの体験ピラー



新宿御苑
(Tokyo)



1. 味覚 (Taste)

第6回福島マルシェ。
新鮮な農産物や日本酒を通じて、
福島の食の安全性と豊かな味わ
いを発信。



2. 展示 (Learn)

環境省・ジオパーク連携パネル展
示。インフォメーションセンター周
辺でのA1パネル約25枚によるラム
サール条約と自然保護の啓発。



3. 体験 (Interact)

ジオパーク・ワークショップ。
10万分の1サイズの磐梯山リアルモ
デル作成や、12分割の巨大キューブ
パズルによる参加型学習。



4. 接続 (Connect)

双方向オンラインライブ配信。
地元アナウンサーを通じたリアル
タイム中継と、ショート動画による
「福島の今」の直接体験。



磐梯朝日国立公園
(Fukushima)



コロナ禍の2020年に結成した「福島マ
ルシェ」を深化し、単なる物産展から
体験型イベントへ進化。



首都圏・インバウンド客が多く訪れる新宿
御苑をハブとし、リアル体験と情報発信
を融合させ直接的な誘客を図る。

NotebookLM



触れて、学んで、完成させる磐梯エリア



環境省・ジオパーク連携パネル展示

新宿御苑インフォメーションセンター前に約25枚のA1パネルを設置。ラムサール条約湿地登録への軌跡と、国際的な自然保護活動の詳細を深く学ぶ。



触れるジオパーク・ワークショップ

仲間と協力して12個に分割された絵柄を合わせる巨大パズルと、15分で体験できる10万分の1サイズの磐梯山リアルモデル作成。五感を使った地域発見。

体験の連鎖：新宿での出会いから、福島への旅へ

	新宿御苑での体験 (Urban Catalyst)		福島での実体験 (Real Destination)
Taste	ジオパークカレーを味わう	➡	地元レストランでの食と農園巡り
Learn	パネル展示でラムサール条約を知る	➡	猪苗代湖でのカヌー体験・自然観察
Interact	10万分の1モデルに触れる	➡	標高1,816mの磐梯山トレッキング
Connect	オンライン中継でガイドと話す	➡	現地でのエコツアー直接参加

1月

2月

3月

4月

5月

6月

6月

9月

9月

10月

11月

12月



9月：全国の舞台へ — JGN北海道大会での知見共有とファシリテーション



日本ジオパークネットワーク（JGN） 全国大会

洞爺湖有珠山エリアで開催された全国大会に
磐梯山ジオパーク代表として参加（9/27-28）。

分科会5：防災ワーキンググループ

「全国のジオパークで取り組んでいる防災活動」
セッションにて世話人を担当。

過去の災害に学ぶ

日本の湿潤変動帯における自然災害の歴史を、地
域の文化や風土、そして「次の災害への備え」と
してどう伝えていくか、全国のジオパーク関係者
と深く議論。

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

10月

11月

12月

12月

秋：外部の視点で、村の「当たり前」を「特別な価値」に翻訳する



10月24日「地域の担い手文化彩」（伊達市）に参加。県内の協力隊と情報交換。

[村民の日常]	➔	[協力隊の翻訳]	➔	[観光客の感動]
見慣れた山と湖	➔	1888年の噴火が生んだ奇跡の地形	➔	地球の息吹を感じるダイナミックなジオツーリズム
庭先のカエルや草花	➔	火山灰土壌が育む固有の生態系	➔	エコツアーでの貴重な観察体験

協力隊の役割は、村の人々が「何もない」「普通だ」と思っている景色に、外からの光を当てて価値を再定義すること。

12月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 10月 11月 12月 1月 2月

冬の歓喜：2026年1月、磐梯山ジオパーク「再認定」達成！

運営

「アクションプランに沿った運営が
着実に進められている」

協働

「構成自治体間の定期的な情報
共有や、各種団体・学校等と
協力関係を構築した成果」

日本ジオパーク 再認定

(2026年1月30日
日本ジオパーク委員会決定)

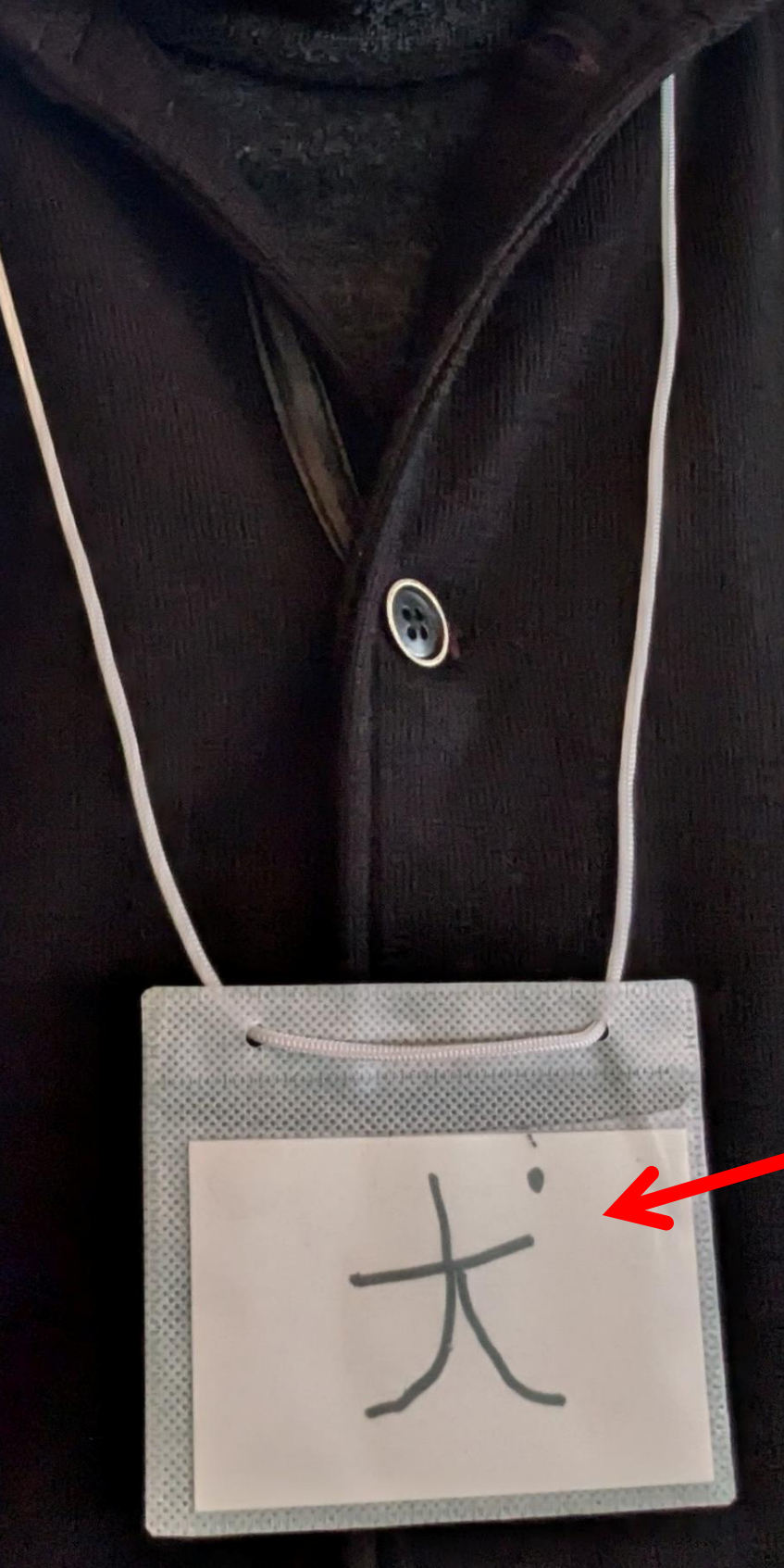
保全・活動

「ガイド団体等が参加したサイトの管理や、
植生調査と連動した保全活動を展開」

この勝利は、村民の皆様、協議会、そして関係機関が
一体となって自然を守り、伝えてきた努力の結晶です。



歳の神まつり 剣ヶ峯神社



ふくしまイノベーションプログラム2025・がん探知犬プロジェクト

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

点と点が線になる：再認定へと繋がった12ヶ月の軌跡

磐梯山ジオパークの価値が、揺るぎないものとして再評価される。

→ ジオパークの根幹である「災害の教訓と持続可能性」を全国レベルで共有

防災ネットワーク(秋)：北海道JGN大会での防災セッション主導

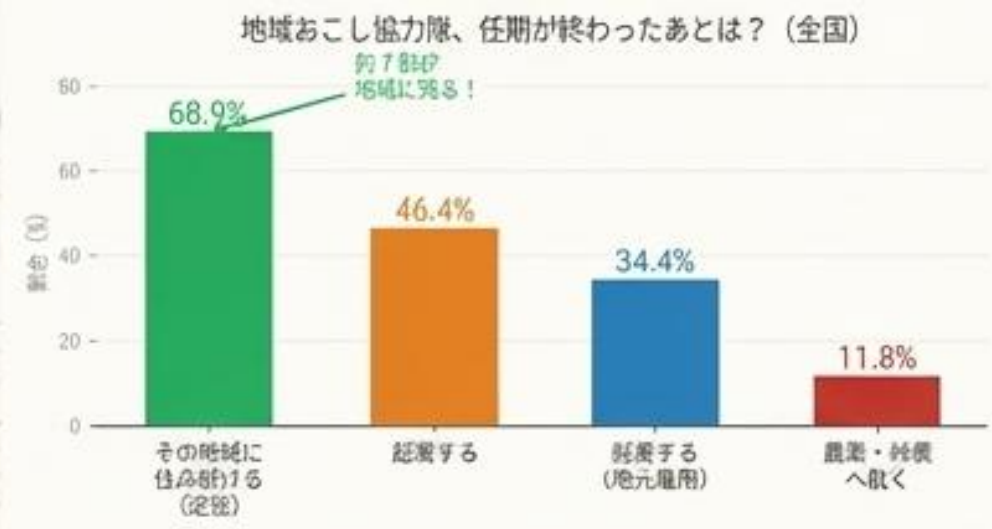
→ JGC評価の「アクションプランに沿った着実な運営」を実証

広域発信(秋)：新宿御苑での国立公園PR展示

→ JGC評価の「ガイド団体等と協働した教育・ツーリズム」へ貢献

安全と包摂(夏)：WAFA資格の活用と福祉協議会との連携

2年目に向けて：地域に根を張るために、皆様へのお願い



全国の地域おこし協力隊、任期終了後も約7割がその地域に定住しています。北塩原村でも、その未来を目指しています。

次の一年も、この景色と一緒に。



ヨロシクね

ご相談・アイデア・空き家情報はこちらまで：
北塩原村役場 観光課 / 総務企画課
TEL: 0241-23-3112

ご清聴頂きありがとうございました。

Thank you for reading the 2025-2026 Geopark Fieldbook.